

議事録

審議会等名	令和5年度 第2回つくばみらい市図書館協議会
開催日	令和6年2月29日（木曜日）
開催場所	つくばみらい市 教育委員会庁舎 2階 会議室
出席者	出席委員 大久保会長、石塚副会長、内田委員、中村委員、 高畑委員、松本委員、栗原委員、田上委員、 欠席委員 吉田委員、渡邊委員、 事務局 大山生涯学習課長、川田館長、関主査、五十嵐司書
議事	(1) 報告 ・令和6年度事業計画（案）について (2) その他 ・雑誌スポンサー制度（案）について
会議概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 午後3時00分 ・会長あいさつ ・図書館長あいさつ ・報告 (1) 令和6年度事業計画（案）について 【質疑等】 事務局から、令和6年度事業計画（案）について、資料に基づき説明を行った。以下のとおり質疑等有り。 委員A：今年度の事業を踏まえて、来年度工夫したところをお伺いしたい。 事務局：夏休み映画会について、昨年度まで未就学児から小学生向けの内容で開催していたものを、今年度は中学・高校生向けまで内容を広げて開催しました。結果として、参加者が増えましたので、来年度はさらに一般向けの映画の上映も検討しています。 また、資料にはありませんが、電子図書館について、今年度は小中学生向けでサービスを開始しましたが、中学

校を卒業する方も引き続き電子図書館をご利用いただけるよう、高校生向けの資料の導入を考えております。

委員A：これまでの事業の積み重ねがあると思うので、それを踏まえながら、市民の皆様のために工夫して、より良くしてください。

委員B：読書感想画展について、募集の方法を教えてください。また、学校と図書館との連携会議について、今年度は2月に開催し、前年度はもう少し早い時期に開催していたと思います。なぜ、今年度は開催が遅くなってしまったのか、来年度はいつ開催を予定しているか教えてください。

事務局：まず、読書感想画展の募集の方法は、7月の下旬に各小学校に募集の案内と申込用紙を紙で全児童に配布し、参加される方は、その様式に従って絵を学校に提出いただきます。そして、学校から図書館へ絵を提出いただきます。

2点目の学校と図書館との連携会議につきましては、今年度は2月13日に開催し、前年度は8月に開催しております。

例年8月に開催しておりましたのは、学校の先生方が夏休み期間で授業がなく、ご参加いただきやすかったことと、学校司書の方もその夏休み期間にご参加いただけたため、開催しておりました。

しかし、令和5年度から学校司書の方が夏休み期間に出勤日を設けられなくなったため、学校司書の方も参加でき、かつ学校の先生方がお忙しくない時期を担当課に確認したところ、12月または2月と候補をいただき、2月に開催いたしました。

ご参加された先生方から、もっと早い時期の開催のご要望もいただきましたので、来年度につきましては、早い時期の開催を考えております。

委員B：学校現場は2月は忙しいという認識があります。また、研修の内容を活かすという面でも、もっと早い時期の開催が良いと思います。来年度の日程調整は、校長会に直接相談した方が良いと思います。そのようなことはできますか。

事務局：前回開催時期を担当課に相談した経緯は、翌年度の学校司書の参加について確認したことがきっかけでした。

8月に学校司書の参加が難しいということで、日程の相談を併せて行いました。

今後は担当課だけでなく、校長先生にもご相談しながら、進めていくようにいたします。

委員C：私からも参加した方が子ども達に還元できる時期に開催していただくようにお願いします。

・その他 (1) 雑誌スポンサー制度(案)について

【質疑等】

事務局から、雑誌スポンサー制度(案)について、資料に基づき説明を行った。以下のとおり質疑等有り。

委員D：この雑誌スポンサー制度については、他の自治体での実績はありますか。

事務局：近隣自治体では、土浦市や取手市などが実施しております。

委員D：メリットの実績としては、どのようなことがありますか。

事務局：経費を削減することができ、その経費を別の事業に充てることで市民サービスの向上を図れることが一番のメリットです。

委員D：多くのスポンサーが付いているというような状況なのでしょう。

事務局：土浦市の事例では、3、4誌しかスポンサーが付いていないという状況のようです。

つくばみらい市では、全館で134誌について広く募集をしたいと考えています。

委員E：広告の掲載場所は、雑誌の表紙が見えなくならないようにするのですか。

事務局：表紙側は下部に高さ4cm くらいの横長の大きさに企業名の広告を入れ、表紙はできるだけ見えるような形を想定しています。裏表紙については、雑誌の大きさに合わせて、企業が作成した広告を掲載する予定です。

また、雑誌の棚のふたにも、裏表紙と同じ広告を掲載することで、雑誌を読んでいる方がいる場合でも、広告が見られるように考えています。

委員A：どのくらいの経費を払ってもらえる予定でしょうか。

事務局：例えば定価千円の月刊誌なら、年間で1万2千円になります。

	<p>委員A：それだけでも、1万2千円分の本が買えるということですね。</p> <p>先日総合教育支援センターに企業から本の寄贈がありました。子どもたちは手に取って本を読んでいる、やはり本があるというのはいいことだと思います。</p> <p>図書館は本が増える、あるいはサービスが向上する、そして企業は宣伝ができるということで、良いことだと思います。</p> <p>・閉会 午後3時42分</p>
そ の 他	傍聴人 0人